

児童どうしの絆を深めるたてわり活動

1. 設定理由

小櫃学区は、豊かな自然に囲まれた田園地域で、三世同居の家庭が多く、恵まれた環境の中で穏やかに過ごしている児童が多い。小学校ではほとんどが小櫃保育園から入学してくるため、みんな顔見知りである。しかし、異学年との関係は希薄である。保育園で異学年での学級編成(たてわり)を導入していたこともあり、若干、異学年でも知り合いがいるが基本的には同学年での遊びが多い。家庭的にはよく手が行き届き、大事に育てられている児童が多いので、自分から積極的に友だちと関わろうとする児童より、受け身になりがちな児童が多い。異学年に対して声をかける場面は、あまり見かけない。地域の方々への挨拶も恥ずかしがり、声が小さくなってしまっている児童がいる。児童数が年々減少する中、学年や地区に偏った人間関係は諸活動を行う上で、大きな課題である。

そこで、たくさんの人と関わり、経験を積むことが大事ではないかと考え、たてわり活動を実施している。この活動を通して、お互いの良さや違いを認め合ったり、高め合ったりし、児童どうしの絆を深め、よりよい人間関係づくりができるのではないかと考え、本主題を設定した。

2. 研究仮説

他学年や学級の友だちと楽しく交流する中で、計画・実践・振り返りを自分たちで行う喜びや協力する楽しさを経験していけば、人間関係が広がり、思いやりや感謝の気持ちをもてるようになり、児童どうしの絆も深まり、よりよい人間関係を築くことができるであろう。

3. 研究内容

絆を深める「たてわり活動」のとりくみ

- (1) 意欲を高めるための手だて
- (2) 団結力を高めるための手だて
- (3) 活動の幅を広げるための手だて
- (4) より深いつながりを育むための手だて

4. 結論

- 計画・実践・振り返りの経験を繰り返すことで、自主性やリーダーとしての自覚が育っている。また、毎回改善点を検討することで、回を追うごとに活動がスムーズに進み、内容も充実したものになった。
- 高学年の児童から大切にされる経験を重ねることで、感謝の気持ちが育つとともに、自己肯定感の高まりが見られた。自分も班の一員であるという自覚を持ち、協力できる児童が多くなっている。
- 学校全体として、児童どうしの絆が深まり、友人関係が広がっている。
- お互いのよいところを認め、伝え合うことができるような手立てを工夫していく。

君津支部
君津市立小櫃小学校
熊切 美穂子
田村 清美



児童どうしの絆を深めるたてわり活動

1. 設定理由

豊かな自然に囲まれた君津市の田園地域にある本校は、児童数 172 名、全学年単学級の小規模校である。祖父母、両親、子どもと三世同居の家庭が多く、恵まれた環境の中で穏やかに過ごしている児童が多い。またほとんどが小櫃保育園に在園し入学してくるため、みんな顔見知りである。しかし、異学年との関係は希薄に感じられる。保育園でも異学年での学級編成(たてわり)を導入していることもあり、若干、異学年でも知り合いがいるが、基本的には同学年どうしの遊びが中心となっている。家庭的にもよく手が行き届き、大事に育てられている児童が多いので、自分から積極的に友だちと関わろうとする児童より、受け身になりがちな児童が多く、異学年に対して声をかける場面は、あまり見かけられない。地域の方々への挨拶も恥ずかしがり、声が小さくなってしまふことがある。児童数が年々減少する中、学年や地区に偏った人間関係は諸活動を行う上で、大きな課題となっている。

本校の学校教育目標は『笑顔いっぱい元気いっぱいやる気いっぱい小櫃っ子』である。笑顔いっぱい、友だちと過ごすためにも、児童にとって、たくさんの人と関わり、経験を積むことが大事ではないかと考え、たてわり活動を実施している。この活動を通して、お互いの良さや違いに気づき認め合ったり、高め合ったりすることで、児童どうしの絆を深め、よりよい人間関係をつくることのできるのではないかと考え、本主題を設定した。

2. 研究仮説

他学年や学級の友だちと楽しく交流する中で、計画・実践・振り返りを自分たちで行う喜びや協力する楽しさを経験していけば、人間関係が広がり、思いやりや感謝の気持ちももてるようになり、児童どうしの絆も深まり、よりよい人間関係を築くことができるであろう。

3. 研究内容(ねらい・実践内容・成果と課題)

たてわり活動のねらいを以下のように考えた。

- ・他学年の児童と交流することにより、人間関係を広げる。
- ・高学年の児童は、下学年の世話をすることを通して、他者への思いやりの気持ちをもつ。
また、リーダーとしての自覚を持ち行動できるようにする。
- ・低学年児童は、上級生に対し感謝や憧れの気持ちをもつことができるようにする。
- ・面倒を見てもらったり、世話になったりした経験を、今後の生活に活かすことができる。

たてわり活動の計画

・・・資料 P7

学 期	活 動	内 容
1 学期	たてわり班結成式 1 年生を迎える会 たてわり競技 ふれあい活動(月 1 回程度)	たてわり班を結成し、班の名前やめあて等を決める。 1 年生を囲んで、班ごとに遊び、給食を食べる。 たてわり班対抗競技を行う。(運動会・ふれあい活動時) 班ごとに遊びを計画し、楽しむ。
2 学期	ふれあい活動(月 1 回程度)	班ごとに遊びを計画し、楽しむ。
3 学期	ふれあい活動(月 1 回程度) 6 年生を送る会 (たてわり班解散式)	班ごとに遊びを計画し、楽しむ。 たてわり班解散式を含め、1 年間班の中心として活躍した 6 年生に感謝の気持ちを伝える。

児童どうしの絆が深まるように、次のような手だてを考えてとりくんだ。

- (1) 意欲を高めるための手だて・・・めあてをもたせる
- (2) 団結力を高めるための手だて・・・たてわりチャレンジ
- (3) 活動の場を広げるための手だて・・・1年生を迎える会・たてわり給食・6年生を送る会
- (4) より深いつながりを育むための手だて・・・ペア活動(1・6年、2・4年、3・5年)

実践は以下の通りである。

(1) 意欲を高めるための手だて

めあてをもたせる

ふれあい活動を通して児童どうしがもっと交流できるように、また限りある時間を有効に使えるように具体的なめあてをもたせてとりくむようにした。

○めあては具体的に立てる。(H28年度)・・・資料P1・P7

最終的にどんな姿をめざすかを話し合い、具体的な表現にしようと声をかけた。

- 例えば
- ・おにごっこを全員が最後まであきずに楽しむことができる。
 - ・今回のたてわり活動で、1年生に全員の名前を覚えてもらう。

○6年生が班ごとに活動内容を相談する中で考えためあては、・・・資料P8・P9

- ・班の仲よしなところを証明できるように、互いの意外な一面を探す。
- ・みんなが笑顔になれて一人ひとりが感想を言えるぐらい楽しむ。
- ・みんなが感想で「楽しい」と言ってくれるようにがんばろう。
- ・たてわり活動の後、みんなが「楽しかった」と笑顔あふれるたてわり活動にしよう！等

6年生がたてわり活動のスタート時に、めあてをメンバーに伝え、どの班も楽しく活動することができた。笑顔が広がり、たてわり活動以外でも話をしたり、遊ぶようになったりした。中には、言い合いになりけんかになったり、素直になれずにつまらないと遊びの輪に入れなかったりする時間もあった。それでも同学年ではない異学年の子との交流の時間は、下の学年の手前『ちょっとがんばらなくては！！』とプライドをくすぐるものがあり、最後には笑顔で終わることができた。

しかし、めあてがどちらかというとならぬ6年生のものであって、1年生～5年生に向けたものではなく、温度差があったようだ。全学年にとって有意義なたてわり活動にするために発達段階にあわせてめあての検討が必要であると反省した。

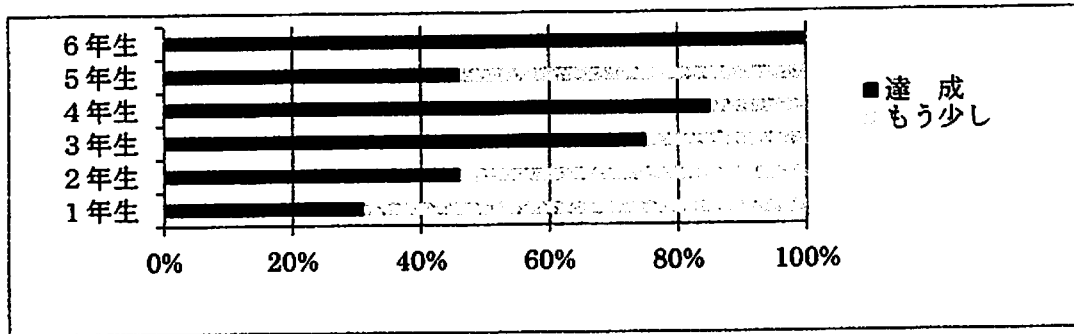
○それぞれの学年にあっためあてを立てて活動する。(今年度)・・・資料P10

全学年が成長できるたてわり活動にするために、6年生と担当が相談して、それぞれの学年のめあてを考え、とりくんだ。

各学年のめあて

- 1年生・・・6年生の名前をフルネームで覚えよう。
- 2年生・・・同じ班の人、10人以上の名前を覚えよう。
- 3年生・・・3人以上の人のよいところを探そう。(誰のどんなところがよかったか)
- 4年生・・・1人以上の低学年のめんどろをみよう。(誰にどんなことができたか)
- 5年生・・・3人以上の人のめんどろをみよう。(誰にどんなことができたか)
- 6年生・・・楽しい時間になるようにみんなのためになることをしよう。
(どんな思いで、どんなことをすることができたか)

6月のふれあい活動でのめあての達成率



1年生を見ると、フルネームではないにしても全員が6年生の名前を書くことができたこと、前回までは低学年と同じように行動していた4・5年生が、低学年の世話をして一緒に遊ぼうと手をつなぐ姿が見られたことなど、たてわり活動の良さが全学年に見られるようになった。

(2) 団結力を高めるための手立て

たてわりチャレンジ

・・・資料 P2

たてわり活動時に、6年生が企画した遊びとは別に特活担当からチャレンジ企画と銘打った課題を出し、たてわり班のメンバーで協力してとりくむことで、班の団結力を高められるようにした。

チャレンジ企画は、班のメンバーが協力してとりくめるもの、内容がわかりやすく目標が立てやすいものとした。たてわり活動の終わりに、結果を校内放送で知らせた。

A ジグザグチャレンジ (5月運動会たてわり競技)

班が1列になって手をつなぎ、後ろの児童がつないだ手の間をジグザグにかけ抜け、先頭の児童と手をつなぎ、それを繰り返すことで列自体が少しずつ進んでいく競技。1時間、練習の時間をとったことで、工夫することでタイムが縮むことがわかり、どの班も目標をもって練習にとりくむことができた。休み時間に自主的に集まり、練習する班もあり、充実した活動となった。

B 紙テープチャレンジ (6月ふれあい活動)

既定の長さの紙テープを班員が1列になって持ち、縦にさいていき、全てをさき終わる時間を競う企画。並ぶ順番を工夫したり、片端ではなく両端からさいていったりと工夫する班が多くあり、楽しい活動となった。また、友だちがさいているときは一生懸命応援したり、低学年の児童が行っているときには隣に行き行ってアドバイスをしたりする姿が見られた。

C 思い出写真チャレンジ (7月ふれあい活動)

1学期最後のふれあい活動ということで、「うちの班が1番仲良し!」が伝わる写真を撮ることを目標にポーズや撮影場所を班ごとに考え、写真を撮った。撮影した写真は掲示し、個人面談に来る保護者も見られるようにした。

D 気持ちをつなぐ、タッチでつなぐ、電流チャレンジ (9月ふれあい活動)

班で円になり、左手を左側の人右手の下にする、右手を右側の人左手の上にする、左側の人に左手をタッチされたら、右手で右側の人左手をタッチする、これを一周するタイムを測定するチャレンジ企画。練習すればするほど記録がよくなるので、何度も練習する班もあり、充実した活動となった。

E 気持ちをつなげるテレパシーチャレンジ（11月ふれあい活動）

「テッテッテッテレパシー」のかけ声で、指1本か2本か3本を出し、指の本数がリーダーと同じだったらテレパシーが通じたとういことでその場に座る。何回目で全員座れるかを競うチャレンジ企画。単純で行いやすいゲームなので、学級レクや帰りの会のメニューに入れる学級もあり、有意義な活動となった。

F フラフープチャレンジ（12月ふれあい活動）

班で円になり、手をつないだままフラフープを一周させ、そのタイムを競うチャレンジ企画。並び方やフラフープのくぐり方にコツがあり、班内で教え合いながら練習することができた。以前に1度行ったことがある遊びだったので、高学年が中心となって並び方やくぐり方を教えており、とても充実した活動となった。

以上のたてわりチャレンジから、チャレンジ企画の課題に挑戦することで、班内でのコミュニケーションが充実した。特に高学年児童が低学年児童をサポートしたり、低学年児童が高学年児童を応援したりする姿がたくさん見られた。また、1つの目標に向かって班全員でとりくむことで、班に一体感がうまれた。ふれあい活動の最後に放送されるチャレンジ企画の結果発表などは、班のみんなで喜んだり悔しがったりする姿が見られた。一方で、チャレンジ企画を行ったことで、6年生が企画した遊びの時間を十分に時間がとれないときがあった。たてわり遊びがマンネリ化してきたときや、6年生が忙しく十分に計画する時間がとれないときなど、取り入れるタイミングを考えていく必要があった。来年度は児童主導で進めさせたい。

（3）活動の場を広げるための手立て

今までたてわり活動で行っていなかった行事の中に、たてわり活動をくみこんで行った。

1年生を迎える会

・・・資料 P11・12

1年生を迎える会をたてわり班として行うことを通して、互いに思いやる心・感謝の心を育て、これからのたてわり活動への希望をもたせることをねらいとしている。また6年生にとっては、たてわり活動の計画を立て、楽しんでもらうことで、最高学年としての自覚を育むとともに充実感を味わわせることもねらいとした。

○活動の流れ

【第1部】

- ①はじめの言葉 ②児童代表の話 ③1年生自己紹介 ④レク（○×クイズ じゃんけん列車）⑤校長先生の話 ⑥おわりの言葉



1年生に6年生がぴったりついてペアになって全校のみんなとじゃんけん



22名の1年生が堂々と自己紹介！！

【第2部】

たてわり給食（各班の教室で集まって食べた。）

【第3部】

班ごとに活動場所に移動し、計画をもとに遊んだ。



※各班で集合写真を撮影→廊下掲示へ

たてわり班を結成してすぐの1年生を迎える会では、緊張しながら6年生が先頭に立って遊びを進めていこうとする姿や堂々と自己紹介する1年生の姿が対称的でほほえましかった。課題としては、高学年である4・5年生やちょっと先輩である2・3年生にとって、たてわり活動をどんな観点で活動させていったらよいかがあげられた。また、最初が肝心と話の聞き方について徹底させていこうと振り返った。

たてわり給食

・・・資料 P3

今年度からの新たな取り組みとして、たてわり給食を実施している。

たてわり給食は、たてわり班で給食を食べながら交流を図ることを目的としている。また、準備や片づけを通して、高学年は下級生のお世話をすることで思いやりの気持ちを持ち、低学年は上級生に対し感謝の気持ちを持つことで、それぞれの心の成長が見込まれる。

給食の準備の段階から、6年生は1年生の、5年生は2年生の給食準備を手伝い、それぞれの班ごとの場所に一緒に行った。3・4年生はその間、自分たちの給食を作りながら会場設営を行った。食べている間は楽しい会話が行われ、普段話さない子とも話すきっかけとなった。

給食を持ちながら移動することへの混乱が予想されたが、上級生の手伝いのおかげで心配することはなかった。時間をたっぷりととったため、交流をさらに深めることができた。

たてわり給食・・・
いただきます



6年生を送る会

・・・資料 P13

1年間たてわり班で楽しく交流してきたことを思い起こすと、お互いを思いやる優しさ、協力することの素晴らしさ、異学年の人間関係の深まりなどを再確認し、児童どうしの絆が深まったことを実感できる。この「6年生を送る会」は、それらが一気に表現される場面である。

たてわり班解散式を含め、1年間、班の中心として活躍した6年生への感謝の気持ちを伝えるために、4・5年生が中心の実行委員で集会の内容を企画運営して進めた。内容は、どれも6年生への思いが溢れている。

○集会

- | | |
|---------------|---------------------------------|
| ①6年生を迎えるセレモニー | |
| ②みんなで楽しむつどい | ・各学年の発表
・職員発表 |
| ③感謝とお別れのセレモニー | ・ありがとうメッセージ
・プレゼント
・6年生から |
| ④たてわり班活動 | ・たてわり班解散式
・班ごとの遊び |



たてわり班のメンバーから「ありがとうメッセージ」の手紙もプレゼントされる☆

○プレゼント

たてわり班で、写真入り色紙をプレゼントした。送る会終了後、体育館へ掲示し、卒業式にも活用している。

各学年の発表が、6年生との思い出や感謝を伝える内容になっており、6年生の児童は大変嬉しそうに見ていた。また、5年生にとっては全校がかかわる大きな会を初めて企画・運営するため、今までにない責任感を感じながら、一層張り切ってとりくむことができていた。

(4) より深いつながりを育む手だて (ペア学年)

1・6年生

・・・資料 P4

1年生にとって6年生は、なんでも知っていて、なんでも教えてくれる、優しくて頼もしい存在。なんでも上手にできる6年生に1年生はちょっぴり甘えながら、たくさんのことを教えてもらった。

A 算数「計算カードの練習」

1年生を半分に分けて、半分の子は教室でたし算カードとひき算カードを6年生に聞いてもらい練習した。一人に対して2名の6年生がつき、たし算カードとひき算カードを聞いてもらった。6年生が「頑張れ」と、声をかけたり、間違うと優しく「よ〜く、考えて。」「ほら、3+4でしょ。」と、指やブロックを出して教えたりする姿が、大変ほほえましかった。その後、校庭に出て、鬼ごっこやリレーをして遊んでもらった。1年生は「6年生のお兄さんは、走るのが速くて、すぐにつかまっちゃった。」と、嬉しそうに話していた。

B 体育「シャトルランとマット運動」

市内音楽会の日、学校に残った6年生と2時間かけて体育をした。シャトルランの測定は、1年生だけでは無理だが、6年生が入ってくれることで正確な測定ができた。また、一緒に走ってくれたり、大きな声で応援してくれたりしたことで、シャトルランの記録が驚くほど伸びた。1年生にとって、大好きなお兄さんたちに応援してもらえることは大変な効果があることがわかった。

C 生活「お手伝いレンジャーに変身しよう」

市内駅伝大会で残った6年生に生活科の学習のお手伝いをお願いした。生活科の学習で家族の一員としてできることを増やそうという目的で、お手伝いの仕方を覚える学習をした。洋服のたたみ方、玄関掃除の仕方、お皿の洗い方、お皿の拭き方、食器の並べ方といった5コーナーを設置した。1対1で6年生についてもらい、それぞれのコーナーを回り、お手伝いの仕方を練習した。職員もいたが、6年生が優しく教えて、褒めてくれることに、1年生は大満足だった。感想の中には、「〇〇君が、洋服のたたみ方が上手だねって言ってきて、嬉しかった。」「△△ちゃんが、お皿は優しく持ってね。といったので、優しく持って拭きました。」「お皿を洗う時、よごれがすごい時は、水で流したり、紙で拭いてからやるといいんだって。」と、様々な話をしながらとりくんだり、知識を増やした。また6年生も、1年生に教えることで、自分のやり方を考えることができたと話してくれた。



洗濯物をたたみましよう



食器の洗い方を教えます

D 音楽「きらきらぼしを木琴と鍵盤ハーモニカで演奏しよう」

6年生が演奏するリコーダーを聴き、うっとりした1年生。次は木琴、鍵盤ハーモニカの演奏を、6年生にみてもらいながら練習した。鍵盤ハーモニカは、わりとできていたので、1年生は、ちょっと誇らしげに6年生に聴かせていた。

以上のとりくみから、1年生は、個別に対応してもらうことで、充実した学習活動ができた。また、6年生は、低学年に教えるということで、優しさを伝えたり我慢も体験したりすることができた。しかし、今回は対外行事との関係で行うことができたが、通常の生活の中では、たくさんの時間の確保は難しい。また、1年生にとっては、大変な成果があるが、6年生には個人的には負担も大きいこともある。

今年度は、1年生も甘えるだけでなく、大好きな6年生と、もっと仲良くなるために6年生の名前を早くフルネームで覚えようととりくんでいる。

6月のたてわり活動の前にした調査では、たてわり班の6年生(3名)を、全員フルネームで言える子はいなく、2名言える子が3名、1名言える子が3名、名前のみを言える子が4名、名前も言えない子が12名もいた。「6年生の名前を覚えよう」と、目標を持たせて参加させると、全員のフルネームが言える子が7名、名前も言えない子はいなかった。1年生なりの目的を持たせることの大切さを痛感した。

E 楽しく遊ぼう

ドッジボールで遊んだ後、6年生が作ってくれたホットケーキをごちそうになり、みんな大喜びだった。何をするのも、とにかく優しい6年生が1年生は大好きである。6年生も1年生と接するなかで、我慢を覚え、優しさを学んでいくのだと感じる。

6年生は算数の比の学習の発展として、ホットケーキを作り1年生にごちそうしてくれました。みんな大喜び!!



2・4年生

A 体育「気持ちを高めてシャトルラン」

「新体カスポーツテスト」の20mシャトルラン測定に向け、4年生が2年生の手伝いをした。2年生は1年時にもとりくんでいるものの、ランニングスピードのコントロールがうまくできないことや、測定記録が曖昧になることが懸念される。そこで4年生が2人組になり2年生1人の測定と応援を受け持った。また、ランニングコントロールができるように、4年生2人がペースメーカーとして走った。2・4年生は事前に各クラスでシャトルランを練習して、当日に臨んだ。

成果として、4年生からの声援を受けて、気持ちも高まり2年生はいつも以上の力を発揮する児童が多かった。また、2年生の頑張りを見て、4年生は自然と笑顔でねぎらいの言葉をかけていて、微笑ましい場面に、互いが有用感を感じていた。

課題としては、時間の確保が難しく、本番1回限りとなってしまったことが挙げられる。練習も含め2回程度は測定できればさらなる記録更新につながったかもしれない。

B 算数「めざせ、かけ算九九先生と名人」

2年生の「かけ算九九」まとめ段階で、2、4年生の交流を行った。かけ算九九先生として4年生が、かけ算九九名人を目指す2年生のかけ算九九暗唱を聞いて検定するというものである。暗唱は、「順序よく暗唱」「逆さ暗唱」「バラバラ暗唱」の3部門に分かれている。各部門、各段に合格するとシールがもらえ、この3部門に合格すると、かけ算名人となれる。

2年生は、4年生であればだれでも選択でき、空いている4年生にどしどし検定を申し込むことができ、意欲的にとりくんだ。

成果として、4年生が先生ということもあり、いつもとは違う環境の中、2年生は適度な緊張感で真剣に臨むことができたこと、また4年生も先生という立場から、かけ算九九を確実に覚えているだろうかと振り返ることができたことが挙げられる。更に、合格した子には「おめでとう。」「すごい。すごい。」「さすがだね。」などと声をかけ、惜しくも合格を逃した子には、「おしかったね。」「あとちょっとだよ。」「次はできるよ。」などと声をかけ、関わりを深めることができた。

課題として、自由に4年生を選択できるのはよかったが、ばらつきが大きく出た。ここで同じたてわり班のグループを活用すれば、ばらつき緩和につながったかもしれない。

A 国語「おすすめの本を紹介しよう! ～3・5年生のお話の森～」

- (1) 他学年の友だちに自分のおすすめの本を、わかりやすく丁寧に発表することができる。
- (2) 相手の立場を考えて本を選んで紹介したり、聴く時の態度やマナーに気をつけたりすることで相手のことを思いやりながら活動することができる。

この二つを目的とし、以下の内容で活動を行った。

本交流会は、5年生が3年生に自分たちがおすすめしたい本を紹介する発表会形式で行った。読書発表会を行おうとした理由は2つである。1つ目は本を紹介したり、または紹介されたりすることで読書に対する興味関心がより高まるだろうと考えたからだ。2つ目は発表形式にすることで、発表を行う5年生は課題である「表現力」を高めることができ、聞いている3年生は発表を聴く際の態度について学習することができると考えたからである。

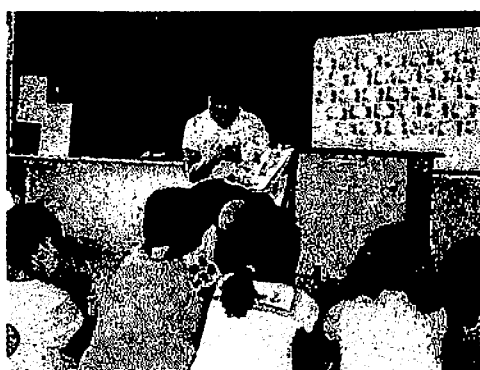
5年生にはあらかじめワークシートに発表内容をまとめさせていた。①本の題名と作者名②あらすじ③おすすめのポイント④読み聞かせ、の4つの柱で発表内容を考えさせた。また本を選ぶ際にも、怖い話の本や難しい小説など、3年生が読みにくいような本は選ばないように注意させた。

当日は3年生の聴く態度やマナーが大変素晴らしく、5年生も安心して発表をすることができていた。5年生も自分たちなりに自分が選んだ本の魅力を一生懸命伝えたり、読み聞かせを行ったりする姿がたくさん見られた。課題や改善点もあったが、全体的に見るとどちらの学年にとっても実りある交流学习を行うことができた。

大きな成果として、5年生は3年生に本のことを一生懸命伝えようとする姿勢や工夫が見られたことが挙げられる。また、3年生は発表を聴く姿勢が大変素晴らしく、5年生の子どもたちからは「3年生が一生懸命聞いてくれたことが1番うれしかった」という感想が多く上がった。そのため、「もう一度やりたい」「今度は別の本を紹介したい」と活動に意欲的な意見が多くあがった。一方で、5年生の事前の準備期間が短く、発表内容がまとまらない児童も出てきてしまった。また、3年生を楽しませるような工夫があるとなおよかった。今後は本の紹介だけではなく読み聞かせ等も行い、活動の幅を広げていきたい。



楽しく読み聞かせをしました。



みんな集中してよく聞いています。

4. 結論

①活動をふりかえって

児童たちは毎回たてわり活動を楽しみにしている。活動後、2, 4, 6年生を対象に行ったアンケートでは、各学年とも9割以上の児童が「楽しかった」と答えている。また、「どんなところが楽しかったか」という質問に対しては、以下のように回答している。

2年生・・・遊び自体（36%） みんなで協力できたこと（9%）
 4年生・・・遊び自体（64%） 6年生が遊びを考えてくれたこと（7%）
 6年生・・・みんなで協力できたこと（23%） みんなが楽しく遊んでいたこと（17%）
 遊びを企画したことに対して、お礼を言われたこと（7%）

※2016年11月

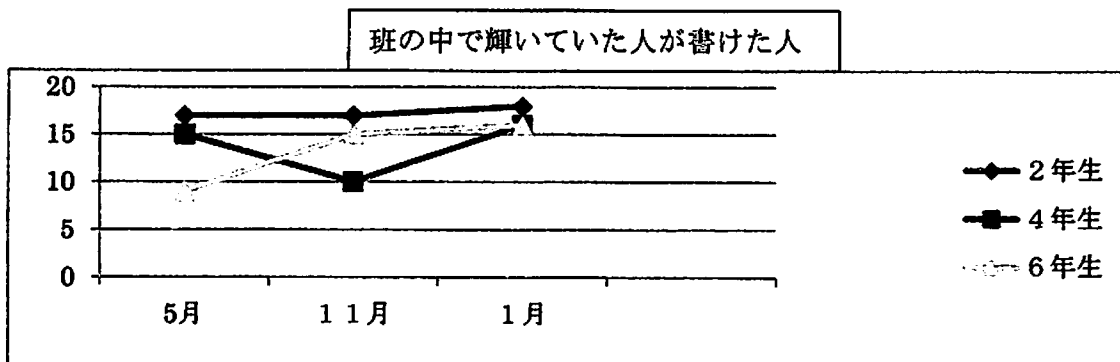
低学年は遊び自体を楽しみ、6年生は、班員の様子を意識しながら活動していることがわかる。また、「改善点はあるか」という質問に対して、2, 4年生はほぼ「ない」と答えていたが、6年生は8割以上の児童が「ある」と答えており、その内容からも、下級生のことをよく考え、よりよい活動を目指していることがわかる。

話を最後まで聞かせたい（38%） 時間を有効に使いたい（24%）
 事前の準備不足（9%） すばやく行動させたい（6%） 全員に楽しんでもらいたい（6%）

※2016年11月

アンケート結果からもわかるように、班全体のことを意識したたてわり遊びを企画することで、6年生の自主性が育っている。計画や実践の負担もあったが、それ以上の充実感や達成感を得られていた。一方で、低学年の甘えが目立ったために、各学年がたてわり遊びにおけるめあてをもち、班全員でよりよい活動にしていく必要があった。各学年のめあてをもつことで交流しようとする前向きな活動になった。今後も継続していきたい。

また、活動後に「班の中で輝いていた人はだれか」という質問を行ったところ、5月初期よりも他学年の児童の名前が挙がるようになってきた。



児童のアンケートから

11月

③たてわり班の中で、かがやいていた人とそのわけを教えてください。

ふくリーダーです。
 なぜかというおしえてたから
 笑

④たてわり班の中で、かがやいていた人とそのわけを教えてください。

はんちやうがしかりてました。

1月

③たてわり班の中で、かがやいていた人とそのわけを教えてください。

さんはじめのリーダーなの
 声をはきはきしていました。

④たてわり班の中で、かがやいていた人とそのわけを教えてください。

6年生の...さんがすごくめ
 しくてかがやいてました。

最初は、「班長」「6年生」など曖昧な表現があったり、名前が書けても、その理由がなかったりしていた。しかし、たてわり遊びの回数を重ねるごとに交流が深まり、相手の良さや頑張りに目を向けられるようになってきた。

班の団結力を高めるための「たてわりチャレンジ」、各行事でのたてわり班を使った活動、ペア活動など、それぞれが相互作用して児童どうしの絆が深まってきているように感じる。またもっとお互いを高めあえるような絆を求めて、継続してとりこんでいきたい。・資料P5・6

②成果

○たてわり活動を通じて、それぞれの学年に応じた成長を見ることができた。

◇〈高学年〉

- ・計画・実践・振り返りの経験を繰り返すことで、自主性やリーダーとしての自覚が育っている。また、毎回改善点を検討することで、回を追うごとに活動がスムーズに進み、内容も充実したものになった。
- ・下学年の児童も楽しく活動できるようにと考え、接することで、相手の気持ちを考えた言動ができるようになってきている。
- ・班のメンバーが活動を楽しみにし、喜んで活動する姿から、達成感や充実感を得ることができ、自信を深めた。

◇〈低学年〉

- ・それぞれの学年に応じためあてを持たせることで、目的意識を持って活動に参加し、メンバーの名前を覚えたり、よいところを見つけたりすることができた。
- ・高学年の児童から大切にされる経験を重ねることで、感謝の気持ちが育つとともに、自己肯定感の高まりが見られた。自分も班の一員であるという自覚を持ち、協力できる児童が多くなっている。
- ・2年生や3年生の活動の様子を見てみると、これまで自分が上級生に優しくしてもらった経験が、下級生と接し方に生かされているのがわかる。

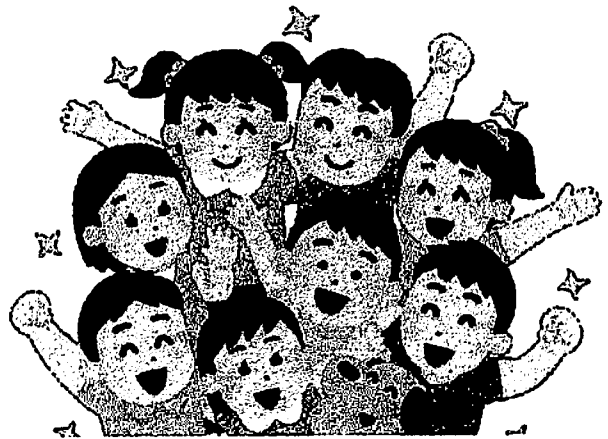
○学校全体として、児童どうしの絆が深まり、友人関係が広がっている。

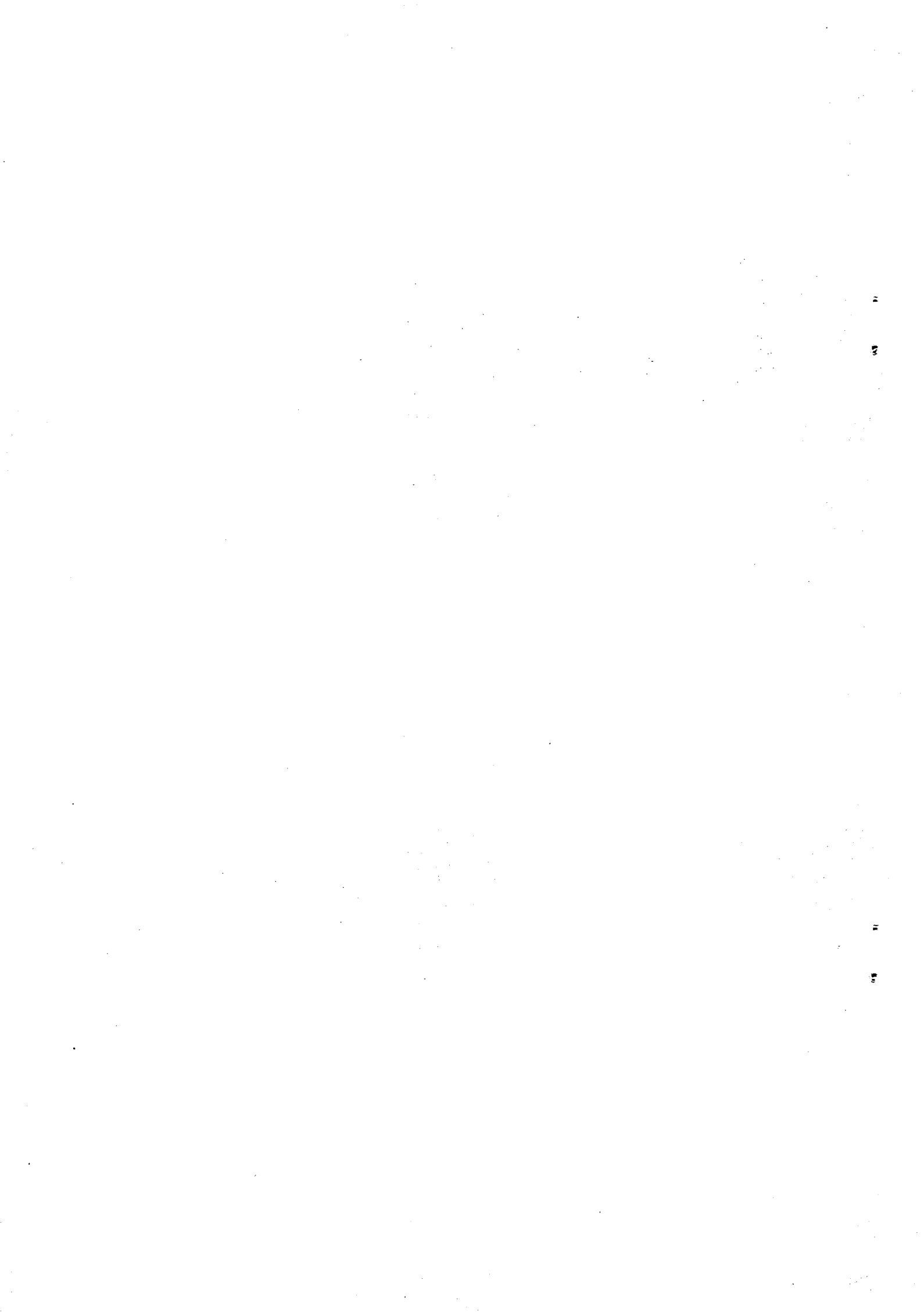
- ・たてわりチャレンジのように協力することが必要な活動を意図的に取り入れたことで、児童どうしの関わりを促すことができ、班の一体感が強いものになった。一人ひとりの存在感も高まった。
- ・たてわり活動の時間以外でも、他学年の友だちに声をかけたり、一緒に遊んだりして積極的に関わる姿が見られるようになった。

③課題

- ・6年生は、計画や振り返りの時間をつくり出す必要がある。
- ・低学年がさらに高学年の思いやりに気づき、感謝の気持ちを持てるような工夫をしていく。
- ・低学年の児童も、実態に応じてめあてを持ち、主体的に取り組めるような手立てを講じていく。
- ・お互いのよいところを認め、伝え合うことができるような手立てを工夫していく。

【資料編】





1. 活動の様子

(1) たてわり活動

① 常時活動の様子



校庭でのドッジボール



校庭でのおにごっこ



お姉さんと一緒ににげます。



体育館で何人乗れるかなゲームをしました。



体育館で、今日の遊びの説明を聞きます。



話をしっかり聞くと、ルールもよくわかります。

②たてわりチャレンジの様子



班の友達と体を寄せ合い、楽しい写真をとることができました。(思い出写真チャレンジ)



みんなで手をつないで、息を合わせて記録に挑戦しました。(フラフープチャレンジ)



円になって、隣の人と手を重ね合わせて絆を深めることができました。(電流チャレンジ)



紙テープをちぎらないように班の友達と協力して活動できました。(紙テープチャレンジ)

③1年生を迎える会

○第1部の活動の様子(全体集会)



自分の名前と好きなものを全校児童の前で、堂々と紹介することができました。



全校でじゃんけん列車を行い、1年生も楽しく活動することができました。

○第2部の活動の様子（たてわり給食）



1年生から6年生の友達と交流を深めることができました。



グループ隊形にして、隣の友達と話をしながら給食を食べることができました。

○第3部の活動の様子（班ごとのレク活動）



低学年の友達の気持ちを考えながら、楽しくイス取りゲームを行っています。



すべり台等の遊具を使って楽しく遊ぶことができました。

④6年生を送る会



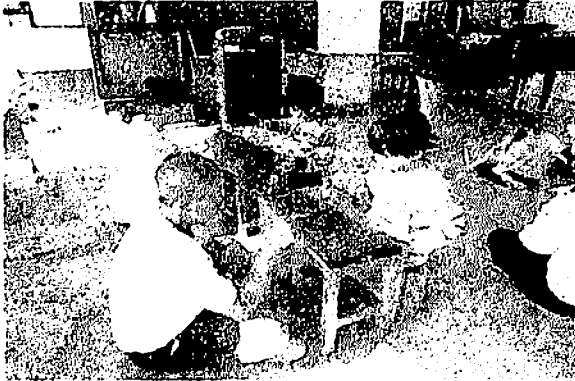
6年生への感謝の気持ちを合奏や劇などで豊かに表現することができました。



たてわり班の解散式を行い、お世話になった6年生に直接感謝の気持ちを伝えることができました。

(2) ペア学年との関わり

① 1・6年生の活動



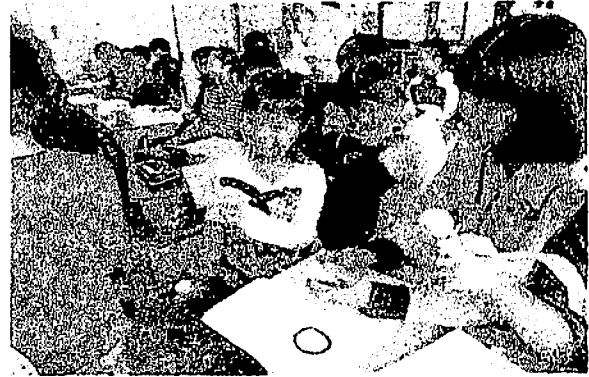
琴の弾き方を6年生に教わることで、難しい楽器も楽しく演奏することができました。



きれいな歌声の出し方や響かせ方などを6年生に教わりました。



6年生と一緒にクッキーを作って、体育館でおいしく食べるすることができました。



修学旅行出発前に1年生からてるてる坊主と手紙のプレゼントがありました。

② 3・5年生の活動



3年生にもわかりやすい「いわしくん」の本を紹介しています。



伝わりやすいよう、本を見せながら発表することができました。

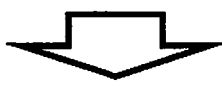
2. 活動後のアンケート結果

(1) 4年生のアンケートの様子

【5月】 I・Aさん

④ たてわり班の中で、かがやいていた人とそのわけを教えてください。

6班全員かがやいていたけれど、とくに [] さんがおんなをまとめてくれました。



【2月】

④ たてわり班の中で、かがやいていた人とそのわけを教えてください。

[] さん
ドッジビーで、まだフリスビーをなげていない手になげさせてあげていた。

【5月】 I・T君

④ たてわり班の中で、かがやいていた人とそのわけを教えてください。

かがやいていた人は2年 [] さんです。
わけはジグザグチャレンジを真剣に怖くなくやります



④ たてわり班の中で、かがやいていた人とそのわけを教えてください。

かがやいていた人 → 4年生の5年生冒
わけ → 楽しいきかくを初めなので作ってくれた

5月のアンケートよりも9月のアンケートの方が、友達の良いところをより具体的にみつけれたり、上級生としての意識が高まったりしていることがわかりました。

(2) 6年生のアンケート結果 (2月調査の結果)

質問① たてわり班活動のどんなところが楽しかったですか？

O・Yさん

② どんなところが楽しかったですか？

今まで自分達が考えていた分、今回は遊ぶ「慣れ」だったので、すごく楽しかったです。5年生もつまく進められて、スムーズに進みました。

K・Hさん

②どんなところが楽しかったですか？

5年生が考えてくれた遊びで、とても楽しかった。
です。「ゴロゴロダン」は、みんなが笑顔で楽しか
たです。

質問② たてわり班の中で、かがやいていた人とそのわけを教えてください。

M・Aさん

④たてわり班の中で、かがやいていた人とそのわけを教えてください。

5年生のみんなです。初めてのたてわり計画でも、
どうしようもないので5年生みんなでお話を
やっていったのです。しかし、6年生になったら
たよれると思っただけです。

I・M君

④たてわり班の中で、かがやいていた人とそのわけを教えてください。

5年4組の人。
理由・きちんと動いていて、説明するとき
も工夫してわかりやすく説明していた。

M・Y君

④たてわり班の中で、かがやいていた人とそのわけを教えてください。

たてわりでツーカーを組むのは初めてなのに
計画がしっかりしていて、計画通りにみんな
をまとめてしじをだしていたから。

N・Rさん

④たてわり班の中で、かがやいていた人とそのわけを教えてください。

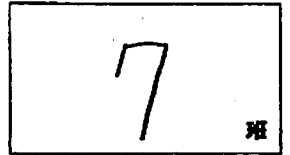
さんです。しかり司会進行をして
くれてスムーズにすすんでいたし、だめの説明も
わかりやすくしてくれて、盛りあげてくれてました。

6人の児童のアンケートから5年生のがんばりを認めたり、称賛したりする意見が見られました。また、このような意見がほぼ全ての児童のアンケートに書かれていました。学年全体で次の6年生を応援しようとしてする姿勢が見られ、年度当初と比較すると心の成長がうかがえました。

たてわり活動計画 (案)

17.4.14特活担当

1年生を迎える会 たてわり活動



1. ねらい

- ・他学年の児童と交流することにより、人間関係を広げる。
- ・高学年の児童は、下学年の面倒を見たり、世話をしたりすることを通して、他者への思いやりの気持ちを持つ。また、リーダーとしての自覚を持ち行動できるようにする。
- ・下学年児童は、上級生に対し感謝やあこがれの気持ちを持つことができるようにする。
- ・面倒を見てもらったり、世話になったりした等の経験を、今後の生活に生かすことができる。
- ・異学年同士、お互いの良さや相違点を認め合い、高め合うようにする。

2. 活動内容

4月・・・たてわり班結成式・1年生を迎える会

5月・・・たてわり競技練習・たてわり競技 (運動会)

6月～2月・・・ふれあい活動

※給食を班ごとに食べ、掃除カットのロングの昼休みをとり、班ごとに計画した遊びを行う。

※1、2月は6年生のサポートのもと、5年生が計画をする。

3月・・・たてわり班解散式 (6年生を送る会)

3. ふれあい活動場所のわりぶり

	1班	2班	3班	4班	5班	6班	7班	8班	9班	10班
4月28日	緑	校	館	校	森	音	校	教	館	校
6月23日	校	緑	校	館	校	森	音	校	教	館
7月14日	館	校	緑	校	館	校	森	音	校	教
9月7日	教	館	校	緑	校	館	校	森	音	校
10月17日	校	教	館	校	緑	校	館	校	森	音
11月14日	音	校	教	館	校	緑	校	館	校	森
12月15日	森	音	校	教	館	校	緑	校	館	校
1月17日	校	森	音	校	教	館	校	緑	校	館
2月13日	館	校	森	音	校	教	館	校	緑	校
3月6日	校	館	校	森	音	校	教	館	校	緑

※ 緑林公園1班・校庭4班・小櫃の森1班・体育館2班・音楽室1班・教室1班

※ 緑林公園 (緑)・校庭 (校)・小櫃の森 (森)・体育館 (館)・音楽室 (音)・教室 (教) と表記

※ 雨天の場合、外の活動場所の班は、担当教室にて遊ぶ。

※ 給食は、1班 (6-1)、2班 (3-1)、3班 (高学年学習室)、4班 (1-1)、5班 (5-1) 6班 (4-1)、7班 (わかば2)、8班 (中学年学習室)、9班 (2-1)、10班 (英語教室) にて 1年生は6年生が、2年生は5年生が準備の応援をして自分の給食をそれぞれの教室に運ぶ。

グループ分けのポイント

- ・前年度の担任が、いろいろな子とふれあえるように、前年度と同じメンバーにならないよう10グループに分ける。
- ・6年生は、リーダー希望者を10グループに分ける。
- ・1年生は入学後の友だち関係の様子を見て10グループに分ける。
- ・兄弟が同じグループにならないようにする。

名前

1年生を迎える会のたてわり活動です。この活動を「なんとなくやってしまうか」「目標をもって計画をしっかりと立ててやれるか」が大きな分かれ目です。運動会たてわり競技へと、とても楽しい活動を重ねていきます。ここで油断せず、楽しい活動にしましょう！！最高学年としての姿をここでもしっかり見せていきましょう。

1. 今月のたてわり活動の目標 (目標の立て方をうらにのっています)

1年生全員の名前を覚える。

2. 遊びの内容 (内容と時間)

時間 1:00～1:30 色おに 15分 ハッピーけん	雨天時 イスとりゲーム (お選当のイ)
-----------------------------------	---------------------------

3. 使う道具

ユニ、赤白ぼろラインカー

うらに、班ごとの活動場所がのっています

4. たてわり活動場所のわりふり

	1班	2班	3班	4班	5班	6班	7班	8班	9班	10班
6月	校	緑	校	館	校	森	音	校	教	館
7月	館	校	緑	校	館	校	森	音	校	教
9月	教	館	校	緑	校	館	校	森	音	校
10月	校	教	館	校	緑	校	館	校	森	音
11月	音	校	教	館	校	緑	校	館	校	森
12月	森	音	校	教	館	校	緑	校	館	校
1月	校	森	音	校	教	館	校	緑	校	館
2月	館	校	森	音	校	教	館	校	緑	校

※ 緑林公園1班・校庭4班・小櫃の森1班・体育館2班・音楽室1班・教室1班

※ 緑林公園(緑)・校庭(校)・小櫃の森(森)・体育館(館)・音楽室(音)・教室(教)と表記

目標の立て方

○具体的に立てましょう。

例えば

- ・おにごっこを全員が最後まであきらまずに楽しむことができる。
- ・今回のたてわり活動で、1年生に全員の名前をおぼえてもらう。

H28

6月たてわり活動計画

班	場所	目標	内容	道具
1班	校庭	最後にみんなが楽しく感想が言える。	3班と合同 ①ドッチビー ②こおりおに	赤白ぼうし ドッチビー
2班	緑林公園	名前を覚える。 けがなく楽しくやる。	①ドッチボール ②ダルころ ③ドッチビー	ボール ドッチビー 赤白ぼうし
3班	校庭	みんなで協力する。 楽しいという感想をもってもらおう。	1班と合同 ①ドッチビー ②こおりおに	
4班	体育館	各チームが協力する。	①じんとりゲーム(10班と) ②しっぽとり(10班と)	赤白ぼうし スズラン 玉入れの玉
5班	校庭	全員が笑顔で楽しめる。	①ドッチビー(8班と) ②ダルころ	ドッチビー
6班	小櫃の森	みんなで協力して、1つのことを達成する。	①宝探し ②自然探し	箱 お宝 的あて
7班	音楽室	みんなが泣いたりしないでけんかせず楽しくやる。	①お題当てクイズ ②かぶつちやだめ ③新聞紙ゲーム(予備)	紙 船 新聞紙1日分
8班	校庭	班のメンバー全員と仲良く話すことができる。	①ドッチビー(5班と) ②色おに ③へびじゃんけん	
9班	教室	みんながあきずにけんかせず楽しくやる。	①ハンカチおとし ②フラフラブチャレンジ ③じゃんけん列車	
10班	体育館	みんなで協力して、班の団結力を高めよう。	①じんとりゲーム(4班と) ②しっぽとり(4班と)	赤白ぼうし スズラン 玉入れの玉

紙テープチャレンジ!!

- ★既定の長さの紙テープを班員が1列になって持ち、紙にさいていき、全てさき進む時間を競うチャレンジ競技。
- 人数は21人に統一する。先生が入ったり、6年生に自分の番のあと、再び後ろに回らせて2人分やらせたりして21人に合わせてください。
- 時間は班担当の先生が測定してください。
- 紙テープが切れてしまった回数×5秒を、タイムに加える。
- 行う時間は、始めでも終わりでもよいです！班の遊びの合間でもOKです。1時半になって活動が終わったら、班長に左様まで報告をさせてください。

H28

11月たてわり活動計画

班	場所	目標	内容	道具
1班	音楽室	1班全員がゲームに参加して楽しむ。	・お題当てクイズ ・伝言ゲーム	黒板
2班	3階学習室	10月よりも絆が深められるように協力しながら楽しく遊ぶ。	・ジェスチャーゲーム	
3班	2-1教室	1・2年生にも楽しかったと思ってもらえるようにする。	・お題当てゲーム(10分) ・ジェスチャーゲーム	お題の紙
4班	体育館	みんなが感想で「楽しい」と言ってくれるようにがんばる。	・しっぽとり(5分×2回) ・ドッジビー(5分×3回)	スズランテープ、 フリスビー、 赤白帽子
5班	3-1教室	みんなで息を合わせて、今月のチャレンジ企画で1位を目指そう!	・新聞紙ゲーム かぶつちややーよ	新聞紙 紙 鉛筆
6班	2階学習室	最後までみんながあきずに遊ぶ。	・かぶつちややーよ(10分) ・ハンカチおとし(5分) ・チャレンジ(5分) ・テレバシーゲーム(余裕たら)	紙、鉛筆 ハンカチ 宝
7班	6-1教室	テレバシーが選ばれることができる7班にしよう(10回以内目標)	・はいちもんめ(10分) ・チャレンジ(練習含む)(10分) ・宝さがし	宝
8班	体育館	たてわり活動の後、みんなが「楽しかった」と笑顔があふれるたてわり活動にしたい。	・しっぽとり(4班と)(5分×2回) ・ドッジボール(10分×2回)	ボール しっぽ
9班	4-1教室	教室でもみんな仲良く、1人もあきたり他のことをやってないような楽しいたてわりにする。	・「木」と「リス」ゲーム(15分) ・だいごんめき(10分) ・チャレンジ練習(5分)	
10班	6-1教室	ルールを守って、笑顔で遊ぼう!	・かぶつちややーよ ・かぶつていいよ ・O×クイズ	紙 鉛筆

今月のチャレンジ企画は・・・

気持ち♪ つながる♪ つなげる♪ つながっている♪

テッテッテッテレバシーゲーム!!

※ラップに節を合わせてください

やり方は単純!

「テッテッテッテレバシー」のかけ声で、指1本か2本か3本を出します。指の本数が、リーダーと同じだったらテレバシーが選みました! 盛り上がります。

H29

1月たてわり活動計画

班	場所	目標	内容	道具
1班	校庭	安全にみんなが楽しく遊べるようにする。7班との交流を深める。	・ドッチビー(7班と) ・色おに(7班と)	赤白帽子 フリスビー ホワイトボード えんぴつ
2班	小櫃の森	みんな楽しく遊ぶ。	・オリエンテーリング(小櫃の森) ・(色おに)	ハンカチ 椅子
3班	音楽室	6年生として任せられるなど思われるようなたてわり活動にする。	・お題当てクイズ ・いすとりゲーム	黒板 CD いす
4班	校庭	みんなが楽しく怪我なく遊ぶ。	・ケイドロ ・犯人はだれだ? ・パチパチゲーム	赤白帽子
5班	3-1教室	全員の名前を覚える。	・ごろごろどかん ・花いちもんめ	ボール
6班	体育館	10班と合同で楽しくやろう。	・ドッチビー ・しっぽとり	フリスビー すずらんテープ 赤白帽子
7班	校庭	全員が楽しめるようにする。1班と交流を深める。	・ドッチビー(1班と) ・色おに(1班と)	フリスビー 椅子・食品 折り紙・赤白帽子
8班	緑林公園	みんながけがなく、楽しく仲良く遊ぼう。	・ドッチボール(新聞) ・ごろごろどかん	新聞ボール 赤白ぼうし
9班	校庭	みんなが楽しく、笑顔でけがなく遊ぶ。	・犯人はだれだ(4班と) ・けいどろ(4班と) ・パチパチゲーム	赤白帽子
10班	体育館	他の班とも交流し、仲良くやろう。	・ドッチビー ・しっぽとり	フリスビー 赤白帽子 すずらんテープ

今月のチャレンジ企画は・・・

5年生のデビュー戦! 新リーダーを支えて、

みんなで盛り上がりましょうチャレンジ!

5年生が考えてくれた企画をみんなで全力で楽しむ!

たてわり活動

班

名前

第2回のたてわり活動です。今回は、「計画をしっかり立てて」、「めあてを各学年にはっきり伝えて」楽しい活動にしていきたいと思います。ここで判断せず、楽しい活動を重ねていきましょう！「最高学年としての姿をここでもしっかり見せていきましょう。

1. 今月のたてわり活動のめあて

- 1年生・・・6年生の名前をフルネームで覚えよう。
- 2年生・・・同じ班の人、10人以上の名前を覚えよう。
- 3年生・・・3人以上の人のよいところを探そう。(誰のどんなところがよかったか)
- 4年生・・・1人以上の低学年のめんどろをみよう。(誰にどんなことができたか)
- 5年生・・・3人以上の人のめんどろをみよう。(誰にどんなことができたか)
- 6年生・・・楽しい時間になるようにみんなのためになることをしよう。
(どんな思いで、どんなことをすることができたか)

2. 遊びの内容 (内容と時間)

晴れの時	雨の時

3. 使う道具

晴れの時	雨の時

うちに、班ごとの活動場所がのっています

第2回(6・23)たてわり活動計画

各学年のめあてを教室でもお話しください。(裏に記録) たくさんの楽しい交流ができますように！！

班	場所(雨天時)	内容	道具	雨天時
1班	校庭(6の1)	①色おに ②氷おに	赤白ぼうし(新聞紙)	①いすとりゲーム ②新聞紙ゲーム
2班	緑林公園(3の1)	①ドッチボール ②花いちもんめ	赤白ぼうし 柔らかいボール(軍箱・新聞紙)	①お題あてゲーム ②かぶつちやあよ ③新聞紙ゲーム
3班	校庭(中学年学習室)	①しっぽとり ②へびじゃんけん	赤白ぼうし ホワイトボード ストップウォッチ	①ハンカチ落とし ②フルーツバスケット
4班	体育館	①おずみとねこ ②ドッチビー	赤白ぼうし	
5班	校庭(5の1)	①しっぽとり ②王様を守れ!	赤白ぼうし(ボール)	①お題当てクイズ ②ゴロゴロドカン
6班	小畑の森(4の1)	①ペアでかくれんぼ ②だるまさんがころんだ	赤白ぼうし	①だるまさんがころんだ ②犯人はだれだ
7班	音楽室	①お題当てクイズ ②花いちもんめ	なし	
8班	校庭(わかば1)	①へびじゃんけん ②バナナおに ③チャレンジ	赤白ぼうし(ボール)	①お題当てクイズ ②ごろごろドカン
9班	2の1教室	①ハンカチ落とし ②チャレンジ ③ごろごろドカン	ボール	
10班	体育館	①かこみおに	赤白ぼうし	

フラフープチャレンジをしたいと思います！！
人数が違うので平均で競いますので、各班で記録をとっておいてください。

6月たてわり活動のめあて

- 1年生・・・6年生の名前をフルネームで覚えよう。
 2年生・・・同じ班の人、10人以上の名前を覚えよう。
 3年生・・・3人以上の人のよいところを探そう。
 (誰のどんなところがよかったか)
 4年生・・・1人以上の低学年のめんどろをみよう。
 (誰にどんなことができたか)
 5年生・・・3人以上の人のめんどろをみよう。
 (誰にどんなことができたか)
 6年生・・・楽しい時間になるようにみんなのためになることをしよう。
 (どんな思いで、どんなことをすることができたか)
 活動後アンケートをとり、めあてが達成できたか確認します。

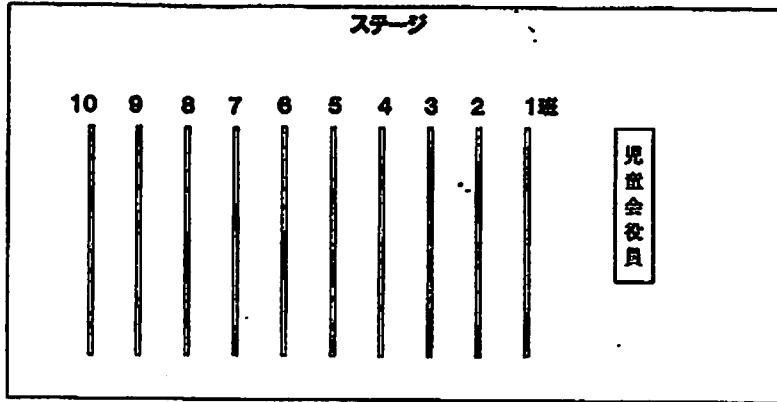
1. 目的
 笑顔いっぱい : 縦割り班で行動したり1年生を迎える会を行ったりすることを通して、互いに思いやる心・感謝の心を育て、これからの縦割り活動への希望をもたせる。
 やる気いっぱい : 縦割り活動の計画を立て、楽しんでもらうことで、最高学年としての自覚を育むとともに充実感を味わわせる。

2. 実施日時
 平成29年4月28日(金)
 3. 場所
 第1部 体育館 第2部 各教室 第3部 各活動場所
 4. 流れ

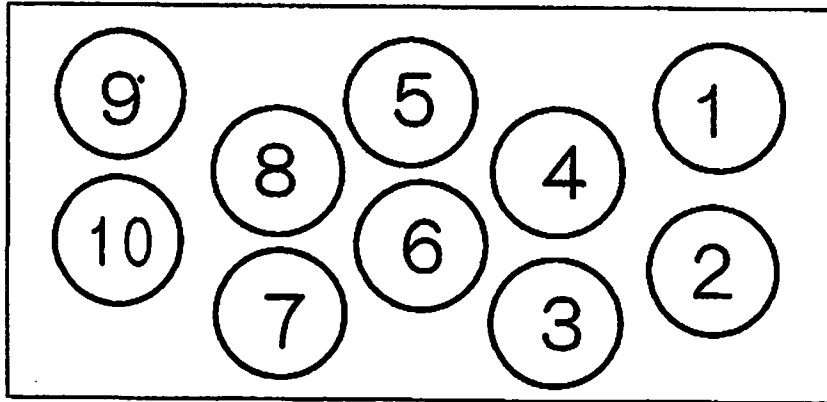
時 間	主な活動と指導の留意点
11:15~11:20 11:25 11:25~11:50	・1年生の迎え(6年生) ・体育館に集合完了(結成式の並び) ※集合するまで「かけてくる1年生」を歌います ・1年生を迎える会【第1部】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ①はじめの言葉 ②児童代表の話 ③1年生自己紹介 ④レク(〇×クイズ ジャンけん列車) ⑤校長先生の話 ⑥おわりの言葉 </div>
11:50~13:00	1年生を迎える会【第2部】 給食(自分の教室で、各班で集まって食べる。12時15分になったら自分の教室からランチマット・はし、歯ブラシ、給食を持って各教室へ移動) ※給食の準備については別紙 食べ終わったら、歯磨き→各教室へランチマットなどを置きに行く→遊ぶ場所へ移動 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 1班(6年1組) 2班(3年1組) 3班(高学年学習室) 4班(1年1組) 5班(5年1組) 6班(4年1組) 7班(わかば) 8班(中学年学習室) 9班(2年1組) 10班(英語教室) </div>
13:00~ ~13:30	・1年生を迎える会【第3部】 各班ごとに活動場所に移動し、遊びを行う。 1班→緑林 2班→校庭 3班→体育館 4班→校庭 5班→森 6班→音楽室 7班→校庭 8班→中学年学習室 9班→体育館 10班→校庭 ※各班で集合写真を撮ってください。(職員も入ります) ☆雨天時は屋内遊びの計画を実施。 教室へ移動

会場図

始めの隊形



○×クイズの時の隊形



たてわり給食のお願い

初の試みですので心配ですが、次のような手順で行ってみたいと思います。

1年生を迎える会の第1部が終わり、

①体育館から教室にいったんもどります。

1・6年→2・5年→3・4年の順に指示を出します。

②給食の配膳をします。

※1年生の給食は、6年児童が各班から1名ずつ行って手伝います。

その後、1年生の給食を6年生が選びます。

※2年生の給食は、5年児童が各班から1名ずつ行って手伝います。

その後、2年生の給食を5年生が選びます。

※3・4年生は各教室で給食準備をしてください。

※5・6年生の手伝いに行かない児童で、5・6年生の分の給食を用意します。

※班長は、給食を食べる部屋のセッティングを行います。配膳の時に机の移動をさせていただきますので アドバイスをお願いします。

③12時15分から 移動を開始します。

(左早先生が放送を入れてくださいます)十分に気を付けて選ばせてください。

④職員の給食はご自身で確保していただけますようよろしくお願いします。

⑤12時45分ごろまで、楽しく会食し、各班ごとにごちそうさまをします。

⑥片づけは

1班と3班→6の1△ 2班→3の1△ 4班→1の1△

5班と10班→5の1△ 6班と8班→4の1△ 7班→わかば△

9班→2の1△

⑦1時からたてわり遊びができるように、集合場所をしっかりと伝えてから歯磨きをさせてください。

⑧歯磨きは1・2年生はそれぞれ給食を食べた教室の近くの流して、

3年から6年は指定しませんので、歯磨きセットのあるところで歯を磨きます。

第3部 縦割り遊び△ 各班ごとに活動場所に移動し、遊びを行う。

1班→緑林 2班→校庭 3班→体育館 4班→校庭 5班→森 6班→音楽室

7班→校庭 8班→中学年学習室 9班→体育館 10班→校庭

平成28年度「6年生を送る会」について(訂正)

H29. 1. 31 5年

1. ねらい

【1～5年】

- ・6年生の卒業を祝い、これまで学校のために先頭になって活動してくれたことに対して感謝の気持ちを表すとともに、在校生が6年生の活動を受け継いで、来年度への活動の意欲を持つようにする。
- ・代表委員会や実行委員会の活動の充実を図り、一人一人が仕事を分担し、協力して準備することができる。

【6年生】

- ・今までの学校生活を振り返り、感謝の気持ちや新しい生活に向けて希望を持つことができる。

2. 日時

平成29年3月7日(火) 2～4校時(1～5年生は、休み時間に入場完了)
(3時間 児活 児活 音楽)
昼休み(13:10～13:40)縦割り班で遊ぶ。

3. 場所

小櫃小学校体育館・グラウンド

4. 内容

(1) 集会

- ①6年生を迎えるセレモニー(6年生入場など) 15分
- ②みんなで楽しむつどい
各学年の発表(入退場を含めて10分以内) 80分
職員発表、休憩も含む。
- ③感謝とお別れのセレモニー
(ありがとうメッセージ、プレゼント、6年生の発表、退場など) 50分
- ④縦割り班活動(縦割り班解散式・班ごとの遊び)

(2) 装飾

体育館ステージに向かって左右壁面・・・今までの外掲示板に貼られたものを再利用
3・4年で確認・装飾
ステージわき両袖・・・4年生が装飾
体育館入口両脇・・・4年生が装飾

(3) プレゼント

写真入り色紙をプレゼントする。(送る会終了後、卒業式に体育館に掲示)
色紙は全校で分担して作成する。

5. 活動方法

- ・実行委員会を5年生で組織し、企画・運営する。
- ・実行委員会で話し合った内容は、代表委員会(3・4・5年生学級代表による)で、提案、連絡等を行う。
- ・「送る会便り」を発行し、決定事項を全校に伝えていく。
なお、1・2年生には、実行委員が決定事項を連絡する。
- ・担当職員として、実行委員は5年、体育館装飾の全体指揮は3・4年、職員発表企画はわかば学級とするが、全職員の協力をお願いしたい。
- ・職員への連絡・提案は打合せの際に行う。

6. 指導のポイント

- (1)当日に至るまでの過程を大切にし、児童の良さを認め合えるようにする。
- (2)児童の発想を生かして、自主的活動ができるようにする。